

第12回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

開催要領

日 時 令和7年3月21日（金）15:00～17:00

場 所 周南市役所 多目的室（周南市役所 本庁舎1階）※WEB併用

出席者 藤井 律子 周南市長

辻 佳子 公益社団法人化学工学会

地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員長

東京大学環境安全研究センター 教授

太田 義彦 出光興産株式会社 執行役員 徳山事業所長

吉水 昭広 東ソー株式会社 南陽事業所 取締役 常務執行役員 事業所長

奥野 康 株式会社トクヤマ 常務執行役員 徳山製造所長

内田 俊彦 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所

執行役員 山口製造所長

宮城 孝一 日本ゼオン株式会社 徳山工場 執行役員工場長

【オブザーバー】（敬称略）

土屋 博史 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長

鈴木 純 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長

塚田 源一郎 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

地球温暖化対策事業室 室長

難波 良多 林野庁 林政部 木材利用課 課長

岩本 康彦 山口県産業労働部 理事 産業脱炭素化推進室 室長

【補佐人】（敬称略）

松方 正彦 公益社団法人化学工学会

早稲田大学理工学術院先進理工学部 教授

石戸 利典 公益社団法人化学工学会

株式会社 IHI エグゼクティブフェロー

藤井 実 公益社団法人化学工学会

国立研究開発法人 国立環境研究所

水口 能宏 公益社団法人化学工学会

日揮ホールディングス株式会社

執行役員 CTO サステナビリティ協創ユニット

新美 雄太郎 公益社団法人化学工学会

三井住友信託銀行株式会社 サステナビリティ推進部

| | |
|--------|--|
| 今井 博文 | 出光興産株式会社 製造技術部 担当部長 |
| 具嶋 文彦 | 出光興産株式会社 徳山事業所 担当部長 |
| 上村 啓治 | 出光興産株式会社 CNX 戦略室 CNX 企画課 担当マネジャー |
| 深澤 有紀 | 出光興産株式会社 CNX 戦略室 CNX 企画課 |
| 渡辺 宏 | 出光興産株式会社 徳山事業所 管理課 担当マネジャー |
| 大塚 雄一郎 | 出光興産株式会社 徳山事業所 管理課 |
| 松村 善則 | 東ソー株式会社 南陽事業所 CO ₂ 削減・有効利用南陽タスクフォースチームリーダー |
| 徳田 友幸 | 東ソー株式会社 南陽事業所 CO ₂ 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム |
| 鈴川 博之 | 東ソー株式会社 南陽事業所 CO ₂ 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム |
| 佐田 純一 | 東ソー株式会社 南陽事業所 CO ₂ 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム |
| 松本 和也 | 東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室 GL |
| 志賀 和宏 | 東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室 |
| 井上 裕司 | 株式会社トクヤマ 執行役員 カーボンニュートラル戦略本部長 |
| 河野 敦之 | 株式会社トクヤマ 徳山製造所副所長 兼 工場企画運営 グループリーダー |
| 大森 一幸 | 株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 兼 工場企画運営グループ 主幹 |
| 小松 康尚 | 株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹 |
| 中本 達也 | 株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹 |
| 佃 宣和 | 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 生産技術室長 |
| 棚田 裕一郎 | 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 総務室長 |
| 伊崎 弘 | 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 設備部上席主幹 |
| 平川 宏之 | 日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部門長 |
| 渋谷 智啓 | 日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部 理事顧問 |
| 本間 彰 | 日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長 兼 脱炭素推進準備室長 |
| 藤村 佳樹 | 日本ゼオン株式会社 徳山工場 脱炭素推進準備室 |
| 菅原 充 | 日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル研究開発推進室 |
| 入野 真一 | 日本ゼオン株式会社 原料部 |

【陪席・随員】（敬称略）

| | |
|-------|---|
| 有間 光 | 経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長 |
| 高浦 正樹 | 経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長 |
| 閑田 英敬 | 経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官 |
| 内海 盛之 | 経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課長 |
| 原田 昌子 | 経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長補佐 |
| 荒木 達也 | 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 課長 |
| 常数 浩二 | 国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 |
| 山口 慎介 | 国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 |
| 今井 遥圭 | 国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 係員 |
| 西山 弘樹 | 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 企画調整係長 |
| 山内 勇樹 | 林野庁 林政部 木材利用課 木質バイオマス係長 |
| 勢登 俊明 | 山口県産業労働部 産業脱炭素化推進室 主査 |

【事務局及び関係課】

| | |
|--------|----------------------------------|
| 道源 敏治 | 周南市副市長 |
| 荒美 雅丈 | 周南市産業振興部 部長 |
| 吉村 渉 | 周南市産業振興部 次長 兼 商工振興課 課長 |
| 周山 健太郎 | 周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長 |
| 山根 正敬 | 周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長補佐 |
| 井尻 帆乃香 | 周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 |
| 松元 悠生花 | 周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 |
| 川口 洋司 | 周南市企画部 部長 |
| 齊藤 康紀 | 周南市環境生活部 部長 |

議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 事務連絡事項
 - ①協議会主催シンポジウムの開催（報告）
 - ②高校生を対象とした出前授業（報告）
 - (2) 報告事項
 - ①ワーキンググループの議論について
 - ②各チームの進捗について
 - (3) その他
- 5 閉会

1. 開会

(事務局)

それでは、ただいまから「第12回周南コンビナート脱炭素推進協議会」を開催いたします。私は、本日、進行を務めます、周南市産業振興部次長の吉村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、次第のとおり進行し、終了時間を17時と予定しております。

本来であれば、御出席の皆様を御紹介するところですが、時間の関係上、事前に送付しております出席者名簿と配席図をもちまして、御紹介に代えさせていただきます。

なお、本日の会議につきましては、御案内のとおり、次第4. 議事(1) 事務連絡事項についてまでの部分公開とさせていただきます。

それでは、開会にあたり、会長並びに副会長から挨拶をいただきたいと存じます。

最初に、会長の藤井市長、よろしくお願いいたします。

2. 市長あいさつ

(会長)

皆様、こんにちは。周南市長の藤井律子でございます。

本日は、年度末の大変御多用のところ、第12回周南コンビナート脱炭素推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

まずは、先週のシンポジウム開催にあたり、皆様から多大な御協力をいただきました

こと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。県内外から会場、オンライン合わせ、大変多くの皆様に御参加をいただきました。

今回、3回目となりますが、回を重ねるごとに参加される方も増え、関心の高さを感じるとともに、カーボンニュートラルコンビナートの実現に、より一層、取り組む責任を改めて実感いたしました。

さて、本日は今年度最後の協議会でございます。

周南コンビナートの2050年の絵姿となる「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」の実現に向け、これまでに、国の支援を受け、産業間連携のカーボンリサイクル事業の実装や周南地区のアンモニア供給拠点、域内パイプライン整備など、具体的な検討が積極的に進められております。

本日は、これまでの検討事項について、各チーム主査から説明をさせていただきます。オブザーバーの皆様方には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見などを頂戴できれば幸いです。

私は先の施政方針において、まちの強みを活かし、このまちを進化させることを述べさせていただきました。まちの強みとは、まさにコンビナートが存在すること、そして、コンビナート企業とここにいらっしゃる関係の皆様が連携してカーボンニュートラルに向かっていることです。2050年を乗り越えられる周南市になるため、常に進化を目指す上で、皆様の力はその進化の源だと考えております。全国のトップランナーとして、産学官の連携による取組の更なる推進を図ってまいりますので、引き続き、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げ、開会の挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、副会長の公益社団法人化学工学会の辻佳子様、よろしくお願いします。

3. 副会長挨拶

(副会長)

みなさん、こんにちは。

この1年間具体的な議論が進みました。それに関係すると思いますが、国際シンポジウムや日本学術会議、イギリスのロイヤルソサエティでカーボンニュートラルについて議論する機会があり、イギリス人から周南という単語が出てきて、海外での関心の高さも感じました。一方で、シンポジウムでは、高専生の活発な議論が記憶に新しいと思いますが、この協議会の取組を情報発信することが大事であるという話もありました。しっかり私たちメンバーだけではなく、周りの人にも理解していただきながら邁進していく

ことを来年度以降も継続できれば良いと思っています。今日は、この 1 年間の成果報告となりますがよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの進行でございますが、協議会規約第 6 条第 2 項「総会の議長は会長をもってこれに充てる」によりまして、進行を会長である藤井市長にお願いいたします。

4. 議事

(1) 事務連絡事項

(会長)

それでは、早速ですが議事に入ります。

まず、議事(1)事務連絡事項でございます。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

事務局から 2 件報告します。

まず、1 件目は、皆様の御協力により 3 月 15 日に第 3 回目となる協議会主催のシンポジウムを開催することができました。当日は関係者を始め、高校生や一般の方も多数御参加いただき、会場に 133 名、オンラインで 110 名とこれまでで最多の参加者数となりました。現在アンケートの集計を行っております。詳細は省略しますが、大変有意義なシンポジウムだったという意見が多く、内容の理解度や今後のシンポジウムへの参加意向についても多くの方から好評を得ることができました。改めまして御登壇いただいた皆様に感謝申し上げます。アンケート結果につきましては、集計後、皆様にメールにて共有したいと思っております。

2 件目は、化学工学の視点からカーボンニュートラルについて考えることを目的に、主に高校生を対象に行う講演会を今年度も 2 回実施しました。辻副会長による「みんなで考えるカーボンニュートラル社会」をテーマとした御講演で、徳山高校の部活動の科学部では 27 名、南陽工業の応用化学科 2 年生では 38 名の生徒の参加がありました。次年度もこうした取組を通じて、将来を担う若い世代への啓発を継続していきたいと考えています。

また、今年度は JR 徳山駅における協議会タペストリーの掲出や広報しゅうなん 8 月号での PR を行いました。タペストリーの掲出については制約もありますが、次年度も継続していきたいと考えています。広報全般に関しては、今後取組が具体化する中で、市民の理解を得ながら進めていくこともあろうかと思えます。情報発信について御意見やアイデアがございましたら事務局までお知らせください。

(会長)

ただいまの事務局からの説明について、御意見・御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

(株式会社トクヤマ)

タペストリー掲出の制約とは何ですか。

(事務局)

5箇所に掲出できるようになっていますが、イベントがある時にはお互い融通しながら使用することになっていますので、基本的には年間を通じて掲出していきたいと考えていますが、時期によっては枚数が減ったりすることもあるかと思います。

(事務局)

それでは、他に御質問等ないようですので、次に進みます。

ここで報道関係者の皆様にお願いがございます。事前に御案内させて頂きましたとおり、本協議会の撮影・取材はここまでとさせていただきます。大変申し訳ありませんが、御退出をお願いします。

以上